

感染性胃腸炎患者等の発生について

平成30年5月7日（月）15:00

北海道帯広保健所

（北海道十勝総合振興局保健環境部保健行政室）

TEL 0155-26-9082 FAX 0155-25-0864

平成30年5月2日（水）、帯広保健所管内の保育所において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

記

1 発生の探知

平成30年4月26（木）に、帯広保健所管内の保育所から、園児がおう吐、下痢、発熱などの症状を呈している旨、同保健所に通報があった。

2 発生の概要

帯広保健所管内の保育所の園児10名が、4月24日（火）から4月27日（金）にかけて、おう吐、下痢、発熱等の症状を呈し、全員が医療機関を受診し、治療を受けた。（入院した者はいない。）

3 現在の状況

5月7日（月）現在、症状は回復もしくは快方に向かっている。

4 経過

4月24日（火）～4月27日（金）おう吐、下痢、発熱等の有症者発生

5月1日（火）～5月2日（水）保健所及び道立衛生研究所において有症者のうち5名の便を検査した結果、全員からサポウイルスを確認

5 感染経路

現在調査中

6 対応

帯広保健所では、当該保育所に対し、園児及び職員の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。

7 その他

サポウイルスとは

サポウイルスとは、主として乳幼児に見られる急性胃腸炎の原因の一つとなるウイルスである。サポウイルスの人への感染は、ウイルスに汚染された飲食物を口にすることや、感染者との接触等による二次感染によって起こり、ノロウイルスやロタウイルスに比べ低頻度だが、一年を通して発生が見られる。

主 症 状：吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱（軽度）

潜 伏 期 間：24～48時間

経過・予後：通常3日程度で回復、予後は良好